

県仏通信

第18号

新潟県仏教会会報
平成30年2月20日発行
発行人・編集人
会 長 寺崎敬道
事務局 山口智史
事務局〒957-0055
新潟市諏訪町2-4-17 宝光寺
TEL 0254-22-4376
FAX 0254-20-7943
postmaster@hokoji.net

年頭の挨拶

新潟県仏教会会長

寺崎

敬道

2月もはや下旬、益々ご清祥にてご接化ご多端のこととお慶び申し上げます。遅ればせながら年頭の挨拶を申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年4月に会長を承って10カ月が過ぎました。本紙でもお伝えしておりますが、すべて初体験のことで暗中模索で取り組んで参りましたし、現在も同様です。

また、県の仏教会のあるべき姿についても考えて参りました。

仏教会といっても、都道府県ごとその存在位置はさまざま、財団法人になっているところもありますし、財団法人化はしていないけれど豊富な資金とスタッフがいて、それを背景に活発な活動を展開

している組織もあります。

また、小さな県であるがゆえに県仏がそのまま地域仏教会の活動を担っているような所もあります。

外側からの推測ですので勘違いもあると思いますが、実態はバラエティに富んでいる、と言つてよいようです。

新潟県は面積も大きく、活発に活動している地域仏教会も少なくありませんから、県仏の役割は全日仏と地域仏教会を結ぶことが第一の役割であると思います。ところが、地域仏教会が未組織の地域があり、未加入の地域仏教会もあります。未加入の地域仏教会には加入を促して参りますが、未組織地域に新たに仏教会を組織していただくのは難しいと考えます。ただし、平成の大合併によって市域が拡大した場合、もう既に完了している地域もあります。既存の仏教会の拡大が必要であり、それは可能なことと思

ます。その上で、個人会員の組織化もすすめていくことが課題であります。

また、現在県仏では理事会を開いていますが、総会や勉強会・講演会などをおこなう、全県の連帯を高めていくようなことも必要と考えております。

本通信の前号「県仏通信第17号」(平成29年7月10日発行)の「就任の挨拶」で、おこないたいと考えている次の5つのことがらを上げました。

1、全日仏からの情報をすみやかに地域仏教会および会員に伝達する。
2、会員に有益な情報を発信する。
3、地域仏教会や会員寺院の事業を後援・共催する。
4、会員に活動や会計状況を公開する。
5、地域仏教会、会員の組織化をすすめる。

いずれも前会長さんからの現状維持で終わつたと認識しております。これを今年の課題としても一度取り組んで参りたいと思っております。

そこで、まず1、2、を向上させるためにメーリングリストサービスを利用することにしました。

是非ご登録ください。

登録方法は、kenbutu-apply@hokoji.netに空メールをご送信いただくか、あるいは<https://hokoji.net/xmail-inglist/kenbutu/?page=Apply>にアクセスし、メールアドレスをフォームに入力し、「メーリングリストに入会する」のボタンをクリックしてください。すぐに確認メールが送信されますので、そのメールに記載されている「認信用URL」をクリックすると入会が完了します。これで県仏からの情報を受け取ることができるようになります。

退会したい場合も同じページで手続きができますので、気軽にご登録ください。

配信される情報は、県仏や全日仏、また警察本部生活安全企画課、人権関連団体からのものが中心となります。寺院運営や講演会、防犯情報など、有益な情報を取り次いで参りますので、適宜ご利用いただければ幸いです。

県仏の運営はひとえに会員各位のご理解とご協力とにかかっております。微力ながら一所懸命に取り組んで参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

仏教界随一の団参専門機関



新潟ビーエス観光

〒940-0041 新潟県長岡市学校町3丁目12-4

TEL 0258(34)4848 FAX 0258(34)0227

ホームページ <http://niigata.bs-group.jp/>

E-mail niigata.b.s@jeans.ocn.ne.jp

- ◆ 越後三十三観音霊場巡拝の旅
- ◆ インド仏跡巡拝の旅
- ◆ スリランカの旅
- ◆ 四国八十八ヶ所霊場巡拝の旅
- ◆ 西国三十三観音霊場巡拝の旅
- ◆ 坂東三十三観音霊場巡拝の旅

公益財団法人全日本仏教会 財団創立60周年記念式典 第44回全日本仏教徒会議福島大会

会長 寺崎 敬道

昨年10月13日に開催された公益財団法人全日本仏教会財団創立60周年記念式典および14日の第44回全日本仏教徒会議福島大会に、新潟県仏教会を代表して山口事務局長とともに参加いたしました。また、和田前会長は実行委員として参加されました。

式典・大会の詳細は「全仏第634・635号」をご覧ください。ここでは個人的な感想を述べたいと存じます。

500名ほどが出席した60周年記念式典では、正装して壇上に登りました。小峰一允全日仏会長の導師のもと、真言宗智山派の職衆による「財団創立六十周年記念被災物故者追悼・関係物故者追悼・被災地復興祈念法要」が勤修

されました。その後、来賓を代表して3名の祝辞がありました。

その中のお一人、WFB(世界仏教徒連盟)事務総長のパロップ・タイアリーさんが、祝辞の前後に本尊の仏像に正式の五体投地(礼拝三拝)をおこなわれたことが印象的でした。

式典後、福島県福聚寺住職で芥川賞作家の玄侑宗久師の記念講演がありました。玄侑師のお話は、10年ほど前に一度、また昨年の6月にも拝聴しており、今回も楽しみにしていたのですが、式典後の着替えなどで途中からになってしまったのが残念でした。

翌日の大会の祭壇には、本尊として東日本大震災からの復興のシンボルになっている「三春の滝桜」の写真が印刷された大きな幕が掛けられていました。幸いにも私の席はその最前列のど真ん中でした。

ところで、私も日本曹洞宗の宗祖道元禪師に『本来の面目』を詠ず」と題された和歌があります。

「春は花夏ほととぎす秋は月冬雪きえですずしかりけり」
この歌は、川端康成さんがノーベル賞を受章したときのストックホルムでの記念講演「美しい日本の私——その序説」で、「日本の神髄」を伝えたい代表的なものとして引用したことも有名です。

一応翻訳を示しておきますと「春の花も夏のほととぎすも、また秋の月も冬の雪の消え残っているさまも、みなそれぞれ自己本来の面目を十全に表し、相対的なありようを超えていのちのかくれなき真実の姿を表している。私自身もそういういのちの表れであり、そのいのちを全うすべく只管打坐



社寺、一般屋根工事請負

いらか
有限会社 薨工業

〒959-2221 新潟県阿賀野市保田6099
TEL (0250) 68-7100 FAX (0250) 68-7111

瓦の美しさを出せる
工事店です。
本掛け、本瓦、棧瓦葺き、
棟は京風、奈風、
ご要望に応じます。

に努めていると、心は澄んで、まことにさわやかになってくることだ。」(高橋文二訳)となります。

自然のいとなみは真実の姿を表している、と示しておられるわけで、「真実のすがた」はすなわち「仏」でありますから、三春の滝桜の写真を本尊に据えた祭壇は的確なものと感じしました。

大会での復興祈念法要も小

峰会長が導師を勤められました。真言宗智山派僧侶の唱える御詠歌にはじまり、真言宗豊山派僧侶の太鼓の響く中、僧侶だけではなく、檀信徒や一般の参加者全員で般若心経を5回お唱えして、東日本また阪神・淡路大震災の犠牲者の追悼と復興を祈念しました。

法要後、加藤登紀子さんのライブを楽しみ、終了式典では、



諸師の挨拶の後、次期開催地の島根県仏教会長に大会旗が渡され、無事円成いたしました。

このような大規模な大会に参加する機会に恵まれ、ありがたくも貴重な体験をすることができたことを深く感謝するとともに、宗派を超えた仏教徒が集うこと、団結することの大切さを再認識いたしました。

前会長・顧問 **和田 博祐**

10月13日・14日、福島県郡山市で開催された全仏60周年記念大会・全日本仏教徒会議に式典部会委員として参加しました。

思い起こせば準備期間の2年間、港区芝に何回通ったかと今では良い思い出です。と言うのも私は平成28年1月に脳梗塞を発症し、3か月もの

治療・リハビリを余

儀なくされ、当初は会議の出席も不安でしたが、北陸新幹線開通のおかげと家族の支え、全仏事務局の皆様の配慮があり、何とか最小限の欠席で終えることができました。

過去に2年前の松山大会・4年前の高野山大会に代議員として参加し、大会の雰囲気はある程度理解したつもりでしたが、あくまでも観衆

の一人ではありませんでした。今回は全仏60周年記念式典という大行事の委員ということで責任があり、係分担の役目をいただいたこともあり、また身体のこともあり、ことの重要性を感じていました。

当日は早朝から門徒の枕経を済ませ新幹線に飛び乗り、会場のホテルハマツに向かいました。都合3時間の旅でした。

打合せ、昼食後法衣に着替え式典参加者の案内開始で業務開始です。私の左足の補助となる杖もバッグの中に忘れるほど両足が安定し歩行もスムーズでした。とうとう最後まで杖の力を借りず、祝賀会まで終えることができました。

式典の様子を少し申し上げます。雅楽演奏の合図で各宗派門主、総長、各県仏教会会長が壇上に上がり、被災者追悼、関係物故者追悼、被災地復興祈念法要が厳粛に営まれました。

県内唯一の伝統継承

木地・彫・金具・塗・蒔絵
お仏壇全工程自社製作



福宝



本社/新潟市南区根岸 1511 Tel 025-362-1658(代)

- 経済産業省公認 石匠位認定店
- 1級お墓ディレクター **15名** (県内No.1)
- 2級お墓ディレクター **108名** (県内No.1)
- 仏事コーディネーター **96名** (県内No.1)

小峰全日本仏教会会長の表
白には、東日本大震災の 2 万
人余の死者と 2 千数百の行方
不明者と原発事故による大災
害の余波を嘆き悲しみ、改め
てこの災害を思い起こし、犠
牲者の冥福と早期復興を祈念
する思いです、と読まれました。

記念講演の玄侑宗久師のお
言葉で「何で法要・命日で僧
侶が読経するのか」という問
いがありました。いつまでも
忘れないで欲しいからという
ことでした。大災害も時が過
ぎ、ある程度復興すれば昔の
ことで忘れてしましますが、
機会のたびに思い出して欲し
いものです。まして今回の大
災害は原発の問題がついてま
わる厄介な問題があります。

2 日目は福島県仏教会主催
の仏教徒大会で真言宗智山派
による法要でした。楽僧によ
る太鼓のオープニングは迫
力、かつ幻想的でした。本当
に感動しました。

加藤登紀子さんの歌とお話
も鑑賞し帰途に就きました。

今回の大会にあたり本当に
貴重な経験をさせていただき
ましたこと、感謝いたします。
東京タワー、増上寺の御朱
印帳を見るたびにいつまでも
思い出すことでしょう。

事務局長 山口 智史

10 月 13 日、14 日福島県郡山
市にて開催された財団創立 60
周年記念式典及び第 44 回全日
本仏教徒会議福島大会に参加
してまいりましたのでご報告
申し上げます。

10 月 13 日、福島県郡山市ホ
テルハマツにて財団創立 60 周
年記念式典が開催されまし
た。開会に先立ち、ご来賓や
加盟団体代表者が登壇。加盟
団体の代表者のほか、郡山市
長の品川萬里様、部落解放同
盟の組坂繁之様をはじめ、ご
来賓の皆様にも登壇いただい
た後、中西玄禮副会長の辞に
より開会しました。その後、
雅楽の音色のもと、真言宗智
山派小峰一允会長が入場し、
「財団創立 60 周年記念被災物
故者追悼・関係物故者追悼・

被災地復興祈念法要」を厳修
されました。私、雅楽で始ま
る法要は初めてであります。
最初は雅楽の CD を使ってい
るのかと思いましたが雅楽の
奏者も真言宗の方とのことであ
り、感心すること頻りであ
りました。

法要後、石上智康理事長の
挨拶があり、福島県で財団創
立 60 周年記念式典を開催した
意味を「引き続き、被災地と
被災者に寄り添い、その苦し
みを自らの苦しみとして、と
もに歩んで参りたい」と述べ
られたことが記憶に残ってお
ります。その後、世界仏教徒
連盟事務総長のパロップ・タ
イアリー様、公益財団法人日
本宗教連盟理事長の芳村正徳
様、郡山市長の品川萬里様か
ら祝辞、福島県議会議長の杉
山純一様を紹介し、篠原法傳
副会長が謝辞を述べ閉会とな
りました。

式典後は、芥川賞作家で福
島県福聚寺住職の玄侑宗久師
の記念講演がありました。演
題は「無常とあわれ」。東日本

大震災の話から始まり、家族
の死、日本人気質、風流と話
が続き、大変興味深く聞かせ
ていただきました。

講演会後は懇親会でありま
した。バイオリンの生演奏、
ひよつとこ踊りが披露され大
変楽しく過ごさせていただきました。

翌日 10 月 14 日は会場をビッ
グパレットふくしまに移し
て、福島県内檀信徒を中心と
した第 44 回全日本仏教徒会議
福島大会が開催されました。

約 2 千 5 百人の来場者の
中、復興祈念法要を厳修しま
した。真言宗豊山派僧侶によ
る祈禱太鼓の中、登壇者やご
来場の方々とともに「般若心
経」を読経された後、被災物
故者の追悼及び被災地の復興
が祈念されました。法要後、
加藤登紀子さんコンサートで
ありましたが、都合によりコ
ンサート開始前に新潟へ帰ら
ねばならなかったこと至極残
念でありました。

以上ご報告致します。

寺院用仏具・仏壇・墓石・製造修復販売



株式会社

光 放

● 本社・工場 〒940-0825 新潟県長岡市高畑町 617

TEL 0258 (33) 5644

☎ 0120-174176

● 長岡キヤリ-

0120-505-560

● 新潟店

0800-888-9872

興福寺の寺宝と 畠中光享展開場式

会長 寺崎 敬道

「県仏通信17号」でお知らせいたしましたとおり、県仏も後援した「興福寺の寺宝と畠中光享展」が、新潟市新津美術館において平成29年9月9日から10月15日まで開催されました。それに先立ち、9月8日午後2時から開場式がおこなわれ、関根事務局員とともに参加いたしました。

篠田新潟昭市長、法相宗大本山興福寺多川俊映貫首、畠中光享画伯のあいさつがありました。来賓席はいわゆる雛壇にあり、あいさつの方々の後ろ姿を拝みながらの拝聴でした。お三人のお話から次のことを知ることができました。

新潟市の名誉市民會津八一のお蔭で、新潟市と奈良市は因縁が深く、八一の歌碑は新潟よりも奈良の方がたくさん建っているとのこと。

八一が興福寺を「ほとけには」と詠んでいて、これが名勝奈良公園の一部をなしている興福寺境内整備の理論的根拠になっているとのこと。それは、「興福寺をおもふ」と題された「はるきぬと いまかもろびと ゆきかへり ほとけのにははなさくらしも」という歌であり、興福寺境内に歌碑が建っています。

畠中画伯制作の法相宗の祖師画像は、再建中の中金堂内部の法相柱に貼り上げられる柱絵であり、完成後は上部が見ることができなくなることと、全体像を間近に見られるのはこの機会しかないとのこと。

ところで、畠中画伯が「絵は見るのではなく、読んでください」とあいさつのなかで



述べられました。

これまでパッと見た第一印象、直感が大切だと思っていましたので、「そうなのか、思い違いをしていたのかも知れない」と考えさせられました。

た。時間を作って、じっくりと観覧にこようと思った次第です。

2時半からは、重要文化財吉祥天倚像の前で法要がありました。多川貫首の導師のも

と、6名の僧衆によるものでした。他宗の法要のため内容は判断できかねますが、最初は声明をおこないながらときおり散華してありましたので、道場をお浄めされたのでしょう。次に、導師が啓白を読み上げ、読経になりました。般若心経の読経中に畠中画伯と主催者が焼香され、その後も読経（『解深密経』の「一切法相品」でしょうか？）が続ぎ、法要は30分ほどで終了いたしました。

いながらにして、奈良仏教の法要にも参拝することができ、貴重な体験をすることができました。ありがとうございました。

〔追記〕全日仏財団創立60周年記念大会の懇親会の折、多川貫首から「新津美術館の興福寺展は来場者が1万人を越えました」と承りました。これが10月13日のことで、最終的には12,948人の来場者があったことを美術館から聞きました。これも皆様のお蔭です。御礼申し上げます。

創ることにこだわり続ける廣川だから
お客様と世代を越えて
おつきあいさせていただきます。

◎全宗協加盟・仏壇公正取引協議会々員・仏匠会々員 JAご指定

金仏壇製造元 | 御家庭之尊厳 | 寺院用荘厳具・仏具取扱

お仏壇と墓石の **廣川**

◆本社ショールーム

〒940-2035 長岡市関原町5丁目5番地
☎0258-46-2020(代)

◆上越店

☎025-525-6660(代)

◆小出店

☎025-792-8424(代)

◆墓石展示場

☎0258-47-2010

全日仏新年懇親会

会長 寺崎 敬道

1月30日、ザ・プリンスタワー東京で恒例の公共財団法人全日本仏教会新年懇親会が催されました。

午後5時30分に開宴後、今期(第32期)と来期(第33期)のそれぞれの会長、副会長が入場し、紹介されました。第33期の会長、副会長は次のとおりです。

会長

曹洞宗管長 江川辰三

副会長

聖観音宗管長 田中昭徳

和宗管長 森田俊朗

華嚴宗管長 狭川普文

神奈川県仏教会会長 和田大雅

愛知県仏教会会長

伊藤正導

日韓仏教興隆協議会会長

藤田隆乗

(以上、敬称略)

この後、会長挨拶、祝辞、来賓紹介、乾杯、仏教懇話会及び各政党仏教議員連盟紹介と続きました。

翌日早朝からの用務のため、私はここで中座いたしました。60周年記念事業第44回全日本

仏教徒会議福島大会開催の御礼、福岡県仏教連合会へ義援金手交、中締挨拶がなされ、7時30分には閉宴となったことと存じます。

お仏壇・墓石 鈴木佛壇店 供養用具・記念碑

白根本店 新潟市南区白根日の出町 10-6 TEL.025-373-4155	新潟小針店 新潟市西区小針4丁目 5-13 TEL.025-233-3135	長岡店 長岡市吉正寺3丁目 107 番地 TEL.0258-29-6400
墓石展示場 白根本店真向い	五泉店 五泉市奥島 634-4 TEL.0250-47-3668	仏壇工場 新潟市南区白根日の出町 10-6 TEL.025-373-3636
石材工場 新潟市南区波曾根 2167-1 TEL.0120-333-721	www.suzukibutsudan.co.jp/	

新潟県人権・同和センターの活動

会長 寺崎 敬道

県仏の会長は、新潟県人権・同和センター(以下センターと略称)の理事およびセンターと地元自治体が中心になつて開催する「いのち・愛・人権」展新潟県実行委員長に委嘱されています。

現在、センターの理事長は浄土真宗本願寺派福勝寺の黒田玲住職が勤められ、ほかに4人の仏教寺院住職が役員を勤めておられます。

センターは部落差別をはじめとする差別解消のために、さまざまな啓蒙活動をおこなっておりまふ。その中から県仏も後援した「越佐にんげん学校」と「いのち・愛・人権」展を紹介申し上げます。

越佐にんげん学校

正式には「人権・同和教育啓発推進講座越佐にんげん学校」といふ、平成29年は第1講座から第9講座までの9つの講座と特別講座の合計10講座が開かれました。参加者は合計で2,260人です。から、平均200人以上の方々が参加されたということになります。新潟市北区、新発田市、柏崎市、長岡市、燕市、上越市、佐渡市、魚沼市、新潟市秋葉区の県内各地で開催されていますので、近くでの開催ならば参加しやすいと思います。

また、各講座それぞれ2つの講演が開かれ、別のテーマの話も聞くことができるようになっていふ。講演内容は、部落差別、狭

山事件、いじめ、ハンセン病、新潟水俣病、女性・DV問題、障害者差別、LGBTなどで、講師も大学の教員や各団体の関係者、宗教者など、多岐にわたっています。

私が参加できたのは、11月7日に新潟市秋葉区文化会館で開かれた第9講座で、しかも講演の1だけしか聴講できなかったことが残念でした。しかし、たいへん有益な話で、無知蒙昧を啓かれたような気がしました。

講師は宝塚大学看護学部の日高庸晴教授で、日本思春期学会理事、厚生労働省エイズ動向委員会委員でもあるということでした。「性的マイノリティの人権課題と最近の動向について」という演題で90分の講演でした。会場は満員で、皆さん熱心に聞いておられました。

性的マイノリティとは、Lesbian・レズビアン、Gay・ゲイ、Bisexual・バイセクシュアル、Transgender・トランスジェンダー、略してLGBTのことです。人類の5〜6%くらいはいるとのことですから、知り合いの中にも何の不思議もありません。国連や国際オリンピック委員会では、性的志向によって、いかなる差別

仏壇・墓石・みこし

TOA トーア

☎ 0120-00-1930

本社／新潟県長岡市寺島817

長岡本店(0258)28-1930

新潟県庁前店(025)288-1930

中之島工場(0258)66-5193

長岡中央店(0258)33-1930

上越店(025)522-0139

南魚沼店(025)772-8193

を受けることなく、人権や自由は確実に享受されなければならない、と定められています。しかし日本国内では、たとえば石原慎太郎氏の見識のない発言やバラエティ番組などの興味本位な扱いなど、差別的な扱いがまかりとおつています。私たちもそれと知らずに「結婚しないの?」とか、無神経な会話をしている可能性もあります。

このような社会では、LGBTの子どもたちは、自己肯定感と自尊心を育てていくことは困難であり、いじめ被害・不登校・自傷行為・自殺念慮・自殺未遂の経験率は、他の人々よりも高くなっています。たとえば、日高先生の調査によれば、異性愛男性に比べてゲイ・バイセクシャルの男性の自殺未遂リスクは5・98倍高いそうです。

解決のためには私たちの多様性に対する意識改革はもちろんのこと、さまざまな法制化も必要であることを痛感いたしました。

「いのち・愛・人権」阿賀野展

昨年の「いのち・愛・人権」展は阿賀野市で開催されました。阿賀野市ふれあい会館を会場に、11月29日～12月5日

の一週間で約2,500人が参観しました。

一日目の午後1時からティーブカット、2時15分からオープニングセレモニーがあり、私は新潟県実行委員会委員長として紹介されました。また、阿賀野展実行委員会委員長の高橋宏道円福寺住職が挨拶をされました。

午後3時から、「日本の人権政策を考える——部落差別解消法などの近年の立法の意義——」と題して、藤本晃嗣敬和学園大学准教授が講演されました。メイン会場は満員で、入りきらない聴衆が100畳敷きの大広間にも大勢おられました。

午後5時半からの記念パーティーでは挨拶をいたしました。「人間には貪瞋癡の三毒があり、癡が貪りと瞋りを引き起こす。差別をし、嫌悪するのは瞋りにほかならず、したがって癡を消し去るのが差別解消の根本の方法だ。癡を消し去るのは啓蒙であり、その有力な手段が『いのち・愛・人権』展だ」というようなことを申し上げました。

来年は糸魚川での開催が決まっております。上越の皆さまには是非ご観覧いただきたく存じます。

全日本仏教会花まつりポスター・絵はがき頒布のご案内

全日仏では、平成30年の花まつりポスター・絵はがきの頒布をしております。特に、今回は一般公募作品も使用しています。どうぞご利用ください。詳細は、全日仏のホームページ

<http://www.jbf.ne.jp/activity/2510/3482/3581.html> をご覧ください。

尚、申込用紙などは県仏事務局にも用意してありますのでお問い合わせください。



ポスター 2: お釈迦さま (50円)
A2サイズ (59.4cm × 42cm)



ポスター 1: 花まつり (50円)
A2サイズ (59.4cm × 42cm)



花まつり絵はがき 2枚1組 (無料)
※別途、要送料

つながるおもい、

つたえるところ。



吉運堂

本社 新潟市南区戸頭1347-1 TEL 025(372)1138(代)

www.yoshiundo.co.jp

寺院用具・お仏壇・墓石

新潟県で 22店舗ネットワーク
No.1 専門資格保有数228

墓石調査と差別

『同和問題』にとりくむ
新潟県宗教教団
連帯会議事務局長

結城 光陽

昨年12月9日から本年1月28日まで新潟市歴史博物館（中央区柳島町）において開催された「ワンダーランド近世新潟町」企画展の中で、江戸時代の墓石の調査成果について展示が行われました。この墓石調査は昨年7月から11月にかけて西堀通周辺の寺院を対象に、インターネットなどで「市民参加の墓石調査隊員の募集」として募られた不特定多数の市民が調査に参加し、行政や諸々の市民団体を実行委員会の構成に取り入れることにより、文化庁の全額補助を受けて行われました。

インターネット上で企画展の趣旨説明と募集がなされたことから、それを目にした他県の寺院住職から部落解放同盟新潟県連合会の方へ連絡がなされ、新潟同宗連としてもはじめて気がつきました。

事前調査により今回の調査対象となった寺院に対して

は、学芸員が訪問し、趣旨説明と調査許可の要請を行ったとのことですが、調査を拒否した住職もありましたが、学術調査として理解し、受け入れた住職もありました（新潟同宗連の聞き取りによる）。

新潟同宗連は、12月9日からの同展開幕前に新潟市歴史博物館を訪れ、担当者から事情を聞いたところ、事前学習会を行うことにより個人情報保護等には留意をしたが、身元調査から部落差別につながる危うさや貧困・格差社会問題への影響までは考えが及ばなかったということだったので、昨今、司法書士や元弁護士により戸籍謄本等が不正取得されていたプライバシー事件、行政書士による戸籍や墓石調査を利用した家系図づくりの広告、テレビ番組や新聞記事に見られる寺院における過去帳閲覧、インターネット上の被差別地名・寺院名の暴露など、身元調査による部落差別につながる事件や事象が絶えない状況にあり、現在の日本には未だ、それによって結婚・就職ができなくなる人たちが存在する現実について理解を求めました。

その後、要請文を発信し、身元調査・暴露により脅かさ

れている人々をさらに苦しめることが懸念される「市民参加の墓石調査隊員の募集」にかかるウェブサイトを即刻削除すること、また、調査の成果を発表する際には、寺院や信徒、墓地使用者が特定されることにより不利益を被らないうよう留意すると同時に、展示や報告（書）の場では、部落差別の歴史と現実の学習や差別解消のための啓発への取り組みを行うよう要請しました。

墓石は個人の所有物件であり、墓地使用者にはプライバシーの権利があります。それはもとより、「身元調査お断り」運動を続けてきた『同和問題』にとりくむ新潟県宗教教団連帯会議としては、墓石は、過去帖と同様にセンシティブな情報が含まれるものと捉え、人間関係や社会を分断し閉塞させていく身元調査が手を変え品を替え多様化している今、さらに厳重に注意が必要であることを認識させられました。

身元調査による部落差別は、寺院に電話がかかってきて、「○○さんはそちらの信徒さんでしょうか？」と尋ねられ、「はいそうですか、なにか？」と答えるだけで、「わ

かりました。結構です」と言っ て被差別部落の出身であるというレッテルを貼られ、その信徒さんの親族の方が結婚や就職ができなくなる、というほど過酷な状況にあります。そのような電話は、新潟県内の寺院に対してもかかってきたという報告があります。平成25年度の新潟県による県民意識調査では、「身元調査をすることは当然のことだと思ふ」と回答した方が10・1%、「よくないことだと思ふが、ある程度はしかたないことだと思ふ」と回答した方が55・3%と、合計65・4%の方が身元調査を容認する回答をしているという現実もあります。

開かれた社会のために存在する宗教教団として、人間関係を引き裂くことにつながる身元調査に協力し、部落差別や格差を助長することになりませんよう、あらためて皆様のご理解と取り組みをお願いいたします。調査や問い合わせに応じる前にまず各教団事務所へご相談ください。また、今後とも、各教団や新潟同宗連で開く学習・啓発の場にご参加いただきますようお願いいたします。

Arkbell

伝えたい想い 伝わるご葬儀

ご葬儀はアークベルのセレモニー



ご葬儀は365日24時間対応

アークベルのセレモニー

検索